

平成 30 年度 事業報告

社会福祉法人豊中太陽会

設立認可：平成 13 年 7 月 16 日

(大阪府指令医福第 78-4)

所在地：豊中市穂積 1 丁目 9 番 6 号

代表者：理事長 浅尾 利機

法人概要

【法人の沿革】

平成 7 年 4 月	保護者有志の方々により大阪府豊中市島江町において 簡易通所授産施設「セント・ポプリ作業所」開設
平成 13 年 8 月	『社会福祉法人豊中太陽会』創設（H13.7.16 認可） 理事長 池村勝子 身体障害者通所授産施設「セント・ポプリ作業所」（名称変更） 施設長 浅尾利機
平成 14 年 7 月	知的障害者通所授産施設「かるがも広場作業所」を法人傘下へ 所在地 豊中市旭丘 施設長 島井京子
平成 17 年 8 月	「セント・ポプリ作業所」施設長 松 公造 「かるがも広場作業所」施設長 藤岡哲夫
平成 19 年 8 月	『社会福祉法人豊中太陽会』 理事長 浅尾利機
平成 21 年 4 月	障害者自立支援法に伴い 障害福祉サービス事業に移行 名称変更 「セント・ポプリ」「かるがも広場」 事業種別 生活介護・就労継続支援 B 型
平成 25 年 6 月	「セント・ポプリ」施設建設・移転・合併
平成 28 年 1 月	「ぼぷりのいえ」開設（共同生活援助）
平成 28 年 4 月	相談支援事業所 セント・ポプリ開設 ○一般相談支援事業 ○特定相談支援事業 ○障害児相談支援事業
平成 29 年 4 月	「サン・スマイル」開設（セント・ポプリ生活介護の従たる事業所）
平成 30 年 4 月	「サン・スマイル」（拠点として開設）施設長 橋本光子

【理念】

利用される方々の意思を尊重し、安心・安全で笑顔あふれる暮らしができ、充実した生活が送れるように支援します。また、全ての利用者・家族関係者、そして支援者が常に笑顔で過ごせる場所で、社会福祉の中心となるような施設をつくります。

【基本方針】

- ① 利用者ひとりひとりの気持ちを大切にします。
- ② さわやかなあいさつと、清潔な身だしなみを心がけます。
- ③ 専門職としての誇りを持ち、自己研鑽に努めます。
- ④ 地域社会との連携、地域社会への貢献を推進します。

【施設の概要】

セント・ポプリ 生活介護・就労継続支援 B 型 施設長 松 公造
所在地 : 〒561-0856 豊中市穂積1丁目9番6号
連絡先 : TEL06-6862-1001 FAX06-6862-0077
E-mail popuril3@taiyoukai.or.jp

ぽぷりのいえ 共同生活援助 管理者 松 公造
所在地 : 〒561-0874 豊中市長興寺南2丁目3番35号
連絡先 : TEL・FAX 06-7161-8062

相談支援事業所セント・ポプリ 管理者 常田真央
所在地 : 〒561-0856 豊中市穂積1丁目9番6号
連絡先 : TEL06-6862-1002 FAX06-6862-0077

サン・スマイル 生活介護 施設長 橋本光子
所在地 : 〒561-0894 豊中市勝部2丁目18番1号
連絡先 : TEL06-6841-4141 FAX06-6841-4143
E-mail smile30@taiyoukai.or.jp



法人報告

平成30年度はサン・スマイルが拠点として立ち上がった事業開始年度となった。法人としても複数拠点となったのは初めてで、会計や運営面に際し少し戸惑いや不明確な点があったが徐々に適用できる体制が整ってきている。

財政面については、過去にないくらい安定した経営状態が保てた。原因としては職員体制が配置基準程度で賄ってくれたのが大きかったといえる。ただし、このままでは職員の体調面や士気に係わってくるので、補充人員を入れて有給休暇の取得向上や余裕を持った人員配置にしていく必要がある。

職員処遇に関しては、消滅する有給休暇について、平均賃金による現金化を行い、有給休暇を取得した者との較差を少なくすることができた。引き続きこの取り組みは行っていくが、有給休暇の取得の妨げにならないように配慮したい。

最後に、穂積二丁目の土地について有効活用を目指して豊中市との擦り合わせを行っているが、本年度は具体的な活用方法までは辿り着けなかった。

1. 理事会・評議員会開催状況

日付	会議名	主な決議内容
平成30年6月5日	第1回理事会	事業報告・決算
平成30年6月23日	第1回定時評議員会	決算
平成31年3月5日	第2回理事会	事業計画・予算
平成31年3月23日	第2回評議員会	事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日付	会議名	主な決議内容
平成30年6月29日	第1回運営会議	職員異動について
平成30年7月5日	第2回運営会議	職員相談・指導
平成31年2月19日	第3回運営会議	理事会議案打合せ

施設名		セント・ポプリ		相談支援事業所 セント・ポプリ	ぽぷりのいえ	サン・スマイル
事業種別		生活介護	就労継続 支援 B 型	一般・特定 障害児	共同生活 援助	生活介護
定員		28 名	12 名	—	4 名	20 名
職員数 (内非常勤)	管理者	1		1	1	1
	施設長	1		—	—	1
	サビ管	1		—	1	1
	生活支援員	19 (14)	1	—	5 (5)	11 (6)
	職業指導員	—	1	—	—	—
	相談支援員	—	—	3 (2)	—	—
	世話人	—	—	—	6 (6)	—
	運転手	11 (生活支援員と兼務 9)		—	—	6 (3)
事務員	2 (1)		—	1 (1)	1	
嘱託医	医師	彭 英峰	—	—	—	彭 英峰
	看護師	楠田 久恵	—	—	—	楠田 久恵
	機能訓練 指導員	船越登紀夫	—	—	—	船越登紀夫
敷地面積		479.50 m ²			100.55 m ²	—
建物	構造	鉄骨造合金 ^{メッキ} 鋼板葺 ・陸屋根 3 階建			木造スレート葺 2 階建	木質パ ^ネ ル構 造 1 階建
	延床面積	681.41 m ²			111.31 m ²	189.635 m ²

各施設報告

【セント・ポプリ】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 28 名 障害支援区分 3～6 開所日数 275 日

生 活 介 護	区分	3	4	5	6	合計
	4月	123	135	193	276	727
	5月	124	142	188	279	733
	6月	122	142	177	268	709
	7月	120	121	207	263	711
	8月	128	116	194	266	704
	9月	111	113	194	264	682
	10月	117	130	193	291	731
	11月	126	129	200	292	747
	12月	110	112	194	302	718
	1月	92	129	165	292	678
	2月	70	166	157	284	677
	3月	75	176	190	314	755
	合計	1,318	1,611	2,252	3,391	8,572

定員 12 名 障害支援区分 1～4 開所日数 275 日

就 労 継 続 支 援 B 型	区分	1	2	3	4	該当なし	合計
	4月	15	74	83	20	94	286
	5月	18	79	85	21	102	305
	6月	15	71	77	20	97	280
	7月	19	75	86	21	99	300
	8月	15	73	62	17	90	257
	9月	14	65	63	16	86	244
	10月	20	76	66	22	102	286
	11月	19	74	44	42	96	275
	12月	15	74	45	35	92	261
	1月	18	61	43	37	92	251
	2月	—	89	41	32	92	254
	3月	—	94	46	39	103	282
	合計	168	905	741	322	1,145	3,281

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計 画	報 告
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意志を尊重し、親切丁寧な関わりを大切にする。 ・行事やイベントを行い利用者を楽しんでもらえるように関わる。 ・人員配置体制を整える。 ・送迎や活動中におけるの気づき、ヒヤリハットを共有して事故予防に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意志を尊重した支援に取り組めるよう職員間で意見交換を行い支援に努めた。 ・10月はUSJに行き、その他にも年間を通して楽しい行事を提供できた。 ・安全に利用者支援に取り組めるよう勤務体制を整えた。 ・ヒヤリハットを通して事故防止への意識を高めた。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項 目	計 画	報 告
支援内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を基本に支援を行う。 ・振り返りを行い、日々の課題を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員中心に個別支援計画を見直し、利用者の日々の活動が充実するように取り組めた。 ・終礼等で日々の課題を話し合い、情報共有し課題改善に向け取り組めた。
生産活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生産活動を通して仕事のやりがい、工賃を得る喜びを感じて頂きます。 ・新たな活動を取り組み活動の幅を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内職作業では、得意な作業工程を中心に取り組んで頂いた。 ・なかまの店の販売で接客を体験し仕事のやりがいや楽しさを感じて頂いた。 ・食材配達、ぱど配りが終了した為、新しい事業活動の開拓が急務である。
創作活動・余暇活動	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム体操（月2回）実施。 ・音楽レク（月2回）実施。 ・朝の体操、ダンスタイムを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム体操では音楽に合わせて体を動かし、運動不足とストレスの解消に繋がった。 ・音楽レクでは、歌をうたい心も体もリフレッシュできた。 ・日課として体操、ダンスタイムを実施した。
健康管理及び機能維持訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者健康診断（年1回） ・医師（月1回）の健診 ・看護師（月1回）バイタルチェック ・機能訓練（月1回） ・口腔ケア（月4回） ・訪問歯科（月2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師の往診、日々のバイタルチェックを行い体調管理に努めた。 ・機能訓練を行い、機能維持・向上に努めた。 ・口腔ケア、訪問歯科、食後の歯磨きで虫歯予防に取り組んだ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルチェック（毎日） ・体重測定（月1回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・職員共にインフルエンザ感染者が多数出たので、拡大予防の為、換気、加湿等を行った。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務体制を調整、人員配置を確認し安心安全の支援に取り組めます。 ・新人職員の指導、引き継ぎを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の休みが重なる事もある為、勤務予定を組む段階から突発的な休みに対応できるように調整した。 ・課題として退職者（4名）を出してしまった。改善策として、職員への個別懇談、少人数での支援についてのグループワーク等でコミュニケーションを行い離職防止に取り組んでいる。
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・年間研修を実施、利用者支援の質と向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して利用者支援の向上に取り組んだ。 ・一部の職員しか外部研修への参加ができず、研修報告を共有する機会が少なかった為、3月より動画研修を取り入れ研修の機会を提供している。
防災計画	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の火災・地震を想定した訓練を行った。 ・6月の地震、9月の台風の災害を通し、マニュアル、連絡体制、備蓄品等の再整備が必要。連絡体制の整備として一斉メールを検討中。
地域との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・夏祭りの準備、当日の警備を行う。 ・地域の小学校イベント参加。 ・地域清掃 ・近隣へのあいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・穂積南公園で開催される盆踊りの事前準備、当日警備のお手伝いさせて頂いた。 ・庄内西小学校の「サマー・カーニバル」で焼きそば出店をした。 ・毎朝、職員が地域のゴミ拾いを実施した。 ・職員に近隣の方へのあいさつの大切さを周知し、実行した。

4. その他特記事項

- 大阪北部地震により建物に多数のひび割れ被害（補助金の活用あり）
- 監視カメラを設置（補助金の活用あり）

【相談支援事業所セント・ポプリ】

1. 計画相談(障害者・児) 一般相談 月別実施状況

平成三十年度 月別利用者状況	月	モニタリング件数	計画作成件数	基本相談件数	合計
	4月	13件	3件	43件	59件
	5月	12件	4件	48件	64件
	6月	15件	6件	56件	77件
	7月	15件	2件	60件	77件
	8月	18件	7件	47件	72件
	9月	14件	6件	20件	40件
	10月	12件	9件	36件	57件
	11月	16件	3件	34件	53件
	12月	16件	4件	35件	55件
	1月	14件	1件	38件	53件
	2月	15件	5件	34件	54件
	3月	15件	4件	48件	67件
	合計	175件	54件	499件	728件

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計 画	報 告
<p>1、相談支援事業を通し、障害者(児)の自立した生活を支えていく。</p> <p>2、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けてケアマネジメントによりきめ細かい支援を提供する。</p>	<p>1、障害者(児)各々の意思の確認と尊重を基本とする。その上で障害者(児)それぞれが生き生きと楽しく暮らし、自立へとつなげる(近づく)為の計画相談の提供を行った。</p> <p>2、本人、保護者、本人と関わる周囲や関係機関と共に本人の思いや課題を共有し、皆で課題の解決やより良い支援につなげる為のサポートを行った。</p> <p>また、利用者の適切な福祉サービス利用に向け、幾人かの障害支援区分の認定の再調査の手配とその結果に伴う福祉サービスの利用調整などを積極的に行った。</p>

3. 相談支援・障害別利用者契約状況と現状報告

1) 障害別利用契約者数の前年対比

平成29年度 利用契約者数				平成30年度 利用契約者数			
身体障害者	2名	難病対象者	0名	身体障害者	2名(2名)	難病対象者	0名(0名)
知的障がい者	33名	(男性利用者)	19名	知的障がい者	38名(40名)	(男性利用者)	24名
障害児	1名	(女性利用者)	20名	障害児	1名(3名)	(女性利用者)	19名
精神障害者	3名	合計利用者数	39名	精神障害者	2名(5名)	合計利用者数	43名(50名)

※ () 内の数字は、事業計画での見込み数

平成30年度の相談支援実施計画を振り返り、特定相談(計画相談)の全体利用者数はH29年度39名からH30年度43名と、4名の増加に留まり、当初見込んでいた11名の増加には届かなかった。特に障害児は横ばい、精神障害者に至っては1人減となった。

2) 見込みと実績の差異の原因分析と相談支援事業の現状

<障害児利用者横ばいの主な原因>

- ①利用者からの利用希望や、関係機関からの相談受託依頼等がなかった。
- ②障害児相談の主たる職員が、「セント・ポプリ」の主任業務兼任で多忙のため、積極的に障害児相談支援の受け入れ勧奨などを行わなかった。
- ③支援学校から体験実習に来られ、当法人事業所「セント・ポプリ」「サン・スマイル」の利用を希望されている障害児を中心に、当相談支援事業所の利用を推進する予定だったが、実習に来られた障害児にアンケートを取ると、既に他事業所の計画相談を利用されていた。

<精神障害者1人減となった主な原因>

- ①利用契約を結んでいた利用者が亡くなられた為、規定により契約解除となった。
- ②利用希望者は数名いたが、その当時の事業所の状況と職員体制を考慮し、直ちに受入れできる状況ではないと判断した為、以降現在に至るまで利用受け入れができていない。

<相談支援事業の現状>

当相談支援事業所の職員体制と、利用者相談進捗状況において、受入れできなかった方々に関しては、基幹相談センターに繋ぐ、もしくは利用契約はせずにそのまま一般相談として、その方の状況に合わせて市の各種手続きや、障害福祉サービス利用の手続き、他事業所の紹介などを随時行っている。計画相談以外の相談業務を概ね行っているものの、未契約の理由としては、精神障害者の障害特性を考慮し、相談員の業務の時間を確保する為である。相談支援業務はその業務の性質上、精神障害者への相談において、しばしば患者とカウンセラーのような図式に陥ってしまい、他の業務に取り掛かる時間の確保が困難になる。ちょうどいい塩梅を見極めて相談を打ち切るのとは簡単ではなく、支援員の技術と根気、包容力などが求められる。

4. 総括と今後について

平成 30 年度総括としては、計画相談利用の契約者を闇雲に確保するのではなく、「計画相談の事業所を利用していない」かつ「現状で困っていて、相談支援によるサポートが急務」と判断した利用者を中心に契約の締結を行なった。この方針は、基本的に今後も変更する予定はなく、現状の計画相談利用者へのサービスの質の向上を図りながら、慎重に利用契約者を増やしていく。また、利用契約が困難な利用希望者に関しても、単純に断るのではなく、障害特性や居住地、その周辺の環境や関わりのある施設、組織などの情報を聞き、その情報を元に関係機関に連携し、繋ぐ、もしくは未契約で引き続きサポートしていく方針も変わらない。しかしながら、未契約でのサポートは本来、指定特定相談支援事業所より、委託相談支援事業所、基幹相談支援センターなどが請け負うことが望ましいため、未契約サポート提供利用者には「たらいまわし」との印象を与えないように、慎重かつ丁寧に委託、基幹支援に繋いでいきたい。

また、平成 30 年度の報酬改定により指定特定相談支援事業所として若干の増収はあったものの、現行の報酬制度では相談支援事業所のみで採算を取ることは不可能といわざるを得ず、同法人他事業所と抱き合わせでしか運営は成り立たない状況である。この状況は常に危機感を持って相談支援事業の運営に当たらざるを得ない。今後サービスの質を下げない為にも相談支援事業の報酬改定に関してしかるべきところに声を上げ続けていかねばならない。

【ぼぶりのいえ】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 4 名 障害支援区分 3～6 開所日数 235 日

共 同 生 活 援 助	区分	3	4	5	6	合計
	4月	24	42	—	24	90
	5月	25	50	—	24	99
	6月	25	50	—	25	100
	7月	25	50	—	25	100
	8月	24	48	—	22	94
	9月	19	46	—	23	88
	10月	21	48	—	24	93
	11月	24	48	—	24	96
	12月	23	38	—	16	77
	1月	21	21	21	21	84
	2月	—	46	23	23	92
	3月	—	52	26	26	104
	合計	231	539	70	277	1,117

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計 画	報 告
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方が安心して生活できる場所にします。 ・利用者の生活情報を共有し心の通った支援を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の体調管理を行い、利用者の意志を尊重し、保護者との連携を図り、安心して過ごして頂けるように取り組んだ。 ・個別支援の見直し、GH会議を通して利用者の情報を共有して支援を行った。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項 目	計 画	報 告
生活支援について	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる場所にします。 ・利用者の意志を尊重したサポートをする。 ・楽しいイベントを提供します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事、入浴、余暇活動のサポートをした。 ・買い出しや調理、掃除等、様々なお手伝いにも取り組めた。 ・月1回のペースで外出に行く機会を提供した。 ・誕生日会、季節の行事（ハロウィンやクリスマス）を皆で楽しんだ。

健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルチェック（朝・夕） ・服薬管理 ・通院対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のバイタルチェックを行い、健康維持に取り組んだ。 ・服薬を管理して、誤薬がないように取り組んだ。 ・体調不良の場合は通院対応を行った。
防災管理	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の避難訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の1名体制時を想定して行った。 ・今後、大災害に備え地域との協力体制を整えていくのが課題となる。

4. その他特記事項

- GHリーダーを設け、利用者・保護者・職員からの気づき・意見を、管理者と共有して業務改善の取り組みを行った。

【サン・スマイル】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 20 名 障害支援区分 4～6 開所日数 275 日

生 活 介 護	区分	4	5	6	合計
	4月	52	160	145	357
	5月	55	165	171	391
	6月	54	163	167	384
	7月	46	169	165	380
	8月	42	158	169	369
	9月	37	154	167	358
	10月	42	156	186	384
	11月	44	153	185	382
	12月	46	134	185	365
	1月	44	138	172	354
	2月	45	139	188	372
	3月	46	147	181	374
	合計	553	1,836	2,081	4,470

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計 画	報 告
<ul style="list-style-type: none"> ・セント・ポプリの主従関係から独立し、一事業所として健全な運営をしていく。 ・フロアリーダーという役職を新設し、組織力を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より利用者が増加し、車いすの動線の問題や新任職員の教育など慌ただしいスタートとなりましたが、課題を少しずつ解決し安定方向となった。 ・フロアリーダーとしての発言も多く、他職員を引率するリーダーが育っている。経験不足な面もあるが、今後、法人理念を基に職員間での話し合いが、重要となる。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項 目	計 画	報 告
支援内容の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年より在籍されている利用者により利用者の増加によるストレスが予想される為、その軽減措置を創作していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者増加にあたり、一部の利用者に影響があった。施設内のみの活動では圧迫感がある為、施設外の活動を提供することで落ち着きを取り戻している。今後も、継続的な施設外への活動の創作が課題となる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に沿った支援を遂行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員を中心に支援計画を作成した。しかし、計画を立てるにあたり利用者への理解不足がある為、助言をしつつ職員の主体性を育てていく必要がある。
機械浴（ライラック）の適切な使用	<ul style="list-style-type: none"> ・機械浴の使用手順を厳守し、安全に入浴介助が出来る事を第一に運用する。 ・使用方法、入浴手順を各職員と確認しながら行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月平均 70 名（延べ人数）の入浴を実施。入浴中の怪我・事故はなし。 課題としては、職員が一人で対応する事が多く、職員に不測の事態が生じた場合への不安が残るので、今後、入浴をフォローする役割を検討する。 ・豊中市の施策の入浴サービスが改修工事の為、サン・スマイルのライラックを貸し出した。2019年4月で終了
授産活動	<ul style="list-style-type: none"> ・アルミ缶集め ・洗車（口腔ケアすまいる） ・バックイス作り ・デコレーションマグネット ・お祭り参加（スマートボール） ・なかまの店（バザー販売） ・食材運搬 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力もあり、各活動を行った。 ・売上 <ul style="list-style-type: none"> アルミ缶 51,200 円 なかまの店 173,036 円 バック椅子その他 8,462 円 食材運搬 110,000 円 洗車 44,000 円 ※食材運搬は2月で終了した。
創作活動	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1、3 火曜日午後 音楽レクリエーションを実施 ・第 2、4 火曜日午後 リズム体操を実施 ・午前中の活動として創作活動を職員が各々考え、自主的に行える様にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽レク講師とよく相談しながら、利用者の集中力が切れない様な工夫をした。また、今後、素のままフェスタにて歌の発表の機会を作ります。 ・利用者の可動域の維持の運動を行うと共に、リズム体操講師より職員の腰痛予防などのアドバイスをいただいた。 ・職員が主体的に自ら活動を考える事で、各利用者への接し方の理解を深める良い機会となった。
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新任職員が増加する為、運転業務、利用者への対応方法などを適切に指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性職員 3 名が退職した。 コミュニケーション不足が大きな原因。今後、離職率の少ない働きやすい職場を目指し、OJTを基に職員を育てる環境づくりをしていく。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の基礎知識向上の為にタブレットを使用した研修を強化していきます。 ・ 強度行動障がいのある利用者への支援を定着させるために、準備を進める。 <p>今後、微調整をしながら加算対応を目指す。</p>
地域関連	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原田小学校『ふれあい広場』 ・ 校区地域運動会 ・ 勝部地区『餅つき大会』 ・ みらい祭り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閉所日の開催となり、職員がお手伝いに参加した。 ・ 地域が高齢化、走れる住人が減少しているため、職員が参加。片付けなどもお手伝いした。 ・ 地域の皆様と利用者が接する良い機会となっている。 ・ 閉所日の開催となり、挨拶へお伺いしています。

4. その他特記事項

- 現在、施設に門がない状況。利用者の飛び出し防止、不審者の侵入防止の為、玄関の施錠を電子式にする予定。
- 防犯カメラの設置（補助金の活用あり）